

2017年度 第一回総括班会議 議事録

日 時：2017年4月22日（土）10時-12時30分

場 所：立命館大学 東京キャンパス 教室5

出席者：渥美、五十嵐、池田、石戸、遠藤、帯谷、久保、小林、酒井、末近、錦田、増原、松永、丸山、森、山尾、山本、横田、有村（学術調査官）、石田（学術調査官）計20名、特任研究員・押尾、幸加木、小林、事務補佐・鈴木

議事次第

10：00～12：30 第一回総括班会議

酒井領域代表より報告事項の説明があった。

- ① 分担者の追加について
 - ・ 29年度より新規参加の分担者(錦田、小林、森)の紹介があった。
- ② 前回2016年度第三回総括班・国際活動支援班会議の報告について
 - ・ 酒井より、議事録をもとに議論の概要について、報告があった。
- ③ シンガポール大学中東研究所との国際会議の決定・打ち合わせ内容 暫定プログラム
 - ・ 同大学中東研究所の所長はじめ、2月に来日した派遣団と国際活動支援班が打ち合わせを行った結果、2018年1月に「移民・難民問題」について、合同国際会議を実施することで合意した旨、報告があった。今後、名前が挙がった報告者候補に連絡を取っていく。
- ④ 公募研究採択内定者の決定
 - ・ 14件の応募のうち、7件が採択・内定が出された。10件を採択予定としていたが応募件数の半分しか採れない規定のため7件採択となった。5月20日に公募研究者の初回会合を予定している、との報告があった。
- ⑤ 千葉大新センター「グローバル関係融合研究センター」設立の報告
 - ・ 千葉大の全学センター、全学に付置したセンターとして、「グローバル関係融合研究センター」が設立されたことが報告された。6月1日、千葉大けやき会館にて、千葉大出身の朝日新聞社長が基調講演を行うキックオフシンポジウムが実施予定である。
- ⑥ これまでの会議記録
 - ・ 各班代表者から、昨年度の実施事項と本年度の予定の説明があった。
- ⑦ 今後の予定について

議題：以下のテーマについて、議論を行った。

- ① 計画研究横断プロジェクトの立ち上げについて

地域研究による実証部分も活かしつつ、既存の研究と差異化した理論化を行うため、各計

画研究と別に共同研究を積極的に行い、最終的に「グローバル関係学」としてまとまりのある研究を打ち出すことを目的として、計画研究横断プロジェクトを発足することが決定された。今年度からは、「移民・難民研究プロジェクト」を発足し、4月23日に第一回会議を開催予定。

② 2月総括班会議での議論を踏まえた今年度の全体研究会の開催日程

2月総括班会議での議論を踏まえ、一回につき4～5人の分担者が発表を行う全体研究会を月一回程度開催することが決定された。今後の予定としては、6月10日、7月1日、7月23日を予定している。

③ 9月ロンドン大学 SOAS 中東研究所長の来日、来年度の全体テーマの討議

・末近計画研究 B02 代表者(国際活動支援班)より、2018年度の海外の研究機関との合同国際会議の相手機関の候補として、ロンドン大学 SOAS 中東研究所の所長を9月19日-10月2日まで招聘する予定であることが報告された。さらに久保分担者(国際活動支援班)より、社会科学研究所(セルビア)との話し合いを進めていることも報告された。今後、共催機関・場所・テーマの設定を行う。

以上の報告、議題に関する討論の後、全員での意見交換を行った。

なお、13時30分より、引き続き第一回全体研究会を行った。そこでは研究代表者、分担者による研究報告が行われた。

(了)